

# KOMAZAWA × AUIA 駒澤大学4×1亜細亜大学

最上の開始早々6分の先制ゴール  
で駒大は波に乗ることができた  
(撮影・野澤俊介)



## 悪かった立ち上がりを意識し 勝ち取った勝利

### 気持ち切り替えて

冷たい雨が降る中、試合は始まる。震えの止まらない寒さだったが、スタンドからの応援は一段と熱い。「駒大が優勝を狙うためには一敗も出来ないし、分ける事も許されない。」と中後が言うように、選手にも気合が入る。

前半6分。早くもチャンスが訪れる。筑城が中央ヘンタリング、相手がクリアするもそこを見逃さなかった**最上**がヘディングシュート。駒大が先制点を奪う。更に10分後、ドリブルで中央突破を図った**原**を**亜大波田**が倒し退場、駒大有利となる。これで得たFKを**中後**が華麗に決め、2点リードとなる。だが、ここからがなかなか前へ進めない。39分。亜大**八木**がドリブルでシュート。GK**太**がそのボールを弾くも、**福田**がそのこぼれ球をすかさずシュートし、1点取られてしまう。

負けられない駒大は42分、**小林亮**がドリブルで**原**にパス。原がゴールを狙うも、ゴール左にわずかに外してしまふ。そしてお互い譲らないまま2-1で前半終了。

後半開始2分。駒大はまたもFKから**中後**がクロス、中央にいた**巻**がヘディングシュート。3点目のゴールとなる。後半から降っていた雨は更に激しさを増す。試合もミスが目立ち、試合も天気も雲がかかったまま時間だけが流れる。だが、70分。関のパスを**小林亮**がセントリング。そのボールを中央にいた**八角**がヘディングで押し込み、ゴール。駒大3点目のリード。72分、再びFKを**中後**が蹴り、**鈴木祐**がすかさずシュートするが、惜しくもゴールをそれてしまう。そして試合終了。

今回、天皇杯から気持ちの切り替えは出来ていた。だが、「依然苦しい状態は変わらない。」(鈴木祐「相手は1人少なくなったから助かったようなもの。納得はしていない。」(筑城)勝ててよかったが、目の前の試合を確実にとっていく事が優勝への条件。)(桑原)との選手も謙虚に答え、そしてまだ納得はしていないようだ。サッカーに終わりなんてない。初心を忘れず、ワンプレーワンプレーを正確に、戦い続けてほしい。そうすれば、今ある星は、やがて太陽よりも光り輝く星となるだろう。